

**MIPRO**

Wireless Microphone Systems • Portable PA Systems

**MA-708**

**Portable Wireless PA System**

**ユーザーマニュアル**



## はじめに

この度は、MIPRO ワイヤレス・ポータブル PA アンプをお買い上げいただき、ありがとうございます。本システムは内蔵するバッテリーで連続待機 6 時間、最大 170W の出力をクリヤーでパワフルなサウンドを再生いたします。軽量で堅牢な構造は、屋外での使用に便利に設計されています。マイクはワイヤレス 2 本(オプションにて最大 4 本)、有線 2 本が同時に使用できる他、CD+MP3 プレーヤーを組み込むことで、学校、スポーツイベント等 1,000 人規模の集会でご使用になれます。ご使用にあたり、この取り扱い説明書をよく読んで、本システムを正しくお使いになり、末永くご愛用いただけますようお願いいたします。また取り扱い説明書は必要なときにご利用いただけるよう、大切に保管してください。

## 製品保証について

保証書は必ず「お買い上げ日」「販売店名」などの記入をご確認いただき、製品と共にお受け取りください。お買い上げ日より一年間は保証期間内です。保証書記載事項に基づき無料修理等を保証させていただきます。修理等はお買い上げの販売店か、日本テックトラスト株式会社までご依頼ください。改造等、設計製造上以外の要因で不都合が生じた場合、及びバッテリー等の消耗品については、保証期間内であっても保証の対象外となりますのでご注意ください。

## アフターサービス

故障や異常が生じた場合は速やかに使用を中止し、お買い上げの販売店か日本テックトラスト株式会社までご相談ください。保証期間経過後でもご要望により有償にて修理を承ります。修理を依頼される場合は「製品名、品番、故障個所や異常の詳しい内容、購入年月日、お客様のご連絡先」をご連絡ください。

## 使用上のご注意

- 筐体は防水・防滴構造にはなっておりません。屋外で使用する場合は、本機を雨や湿気にさらさないようご注意ください。
- 万一水に濡れた場合は直ちに電源スイッチを切り、乾いた布で水分を拭き取ってください。
- 床上スタンドを使用する場合は補助網等を採用して、転倒しないように十分配慮してください。
- 照明用調光機、コンピューターなどの OA 機器、大型モーター、携帯電話、トランシーバー等の通信機器の近くでは雑音等の影響を受けることがありますので、なるべく離れて使用してください。
- 振動、高温、多湿、塵芥等を避けて設置してください。特に水辺での運用は注意が必要です。
- 日常のお手入れは柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン、シンナー、アルコール等は変色・変形の原因になりますので絶対に使用しないでください。
- 本製品の Bluetooth や B 型ワイヤレスシステムと同じ周波数を使用する機器の近くでは、電波の影響により音声途切れたり、ノイズが混入する可能性があります。干渉し合う機器同士は離してご使用ください。
- ワイヤレスマイクの送受信機は必ず MIPRO 製品同士でご使用ください。
- メーカーが指定する付属品/アクセサリーをご使用ください。



**日本テックトラスト株式会社**

〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町 30-13

グラスシティ元代々木 1F

TEL: 03-6407-0492 FAX: 03-6369-4465

E-mail: [sales@tech-trust.co.jp](mailto:sales@tech-trust.co.jp)

URL: <http://www.tech-trust.co.jp>

お問い合わせ

## 基本操作と注意事項の説明

### 電源スイッチ

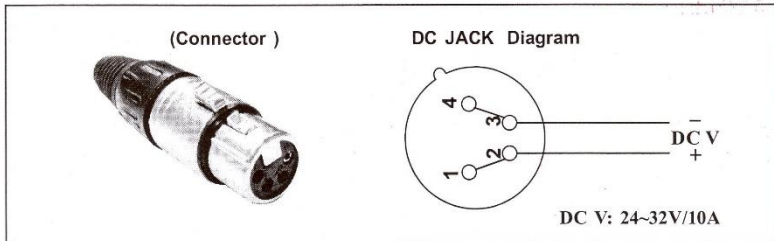
- 1) 本体背面の主電源スイッチ⑥を(I)に押し、スイッチ上面の赤色 LED が点灯し電源が入ります。
- 2) バッテリーメーター⑦が点灯しますので、バッテリーの充電状態を確認してください。
- 3) 充電状態は 4 点 100%、3 点 75%、2 点 50%、1 点 (赤色) 25%の状態を表示します。
- 4) 最後に必ず主電源スイッチを切る事を確認してください。電源が入ったまま収納してしまいますと、発熱して大変危険です。

### バッテリーの充電

- 1) 本体背面の AC 100V コネクター⑪に専用のケーブルを接続し、家庭用電源 (AC100V) のコンセントから充電をしてください。バッテリーメーター⑦が点滅し自動的に充電が開始されます。
- 2) バッテリーメーター⑦が 4 ポイント点灯してフル充電の状態になりましたらケーブルを外してください。
- 3) 以上で充電完了です。

### 外部直流電源の利用 (自動車用のバッテリー等)

- 1) 本体背面の外部 DC コネクター⑫に、直流 24V~32V 10A を供給すると動作いたします。
- 2) 接続は極性に注意して慎重に行ってください。接続を間違えると本体が破損するだけでなく、発火等の事故が予測されますので、テスター等の測定器を操作できる方が行ってください。



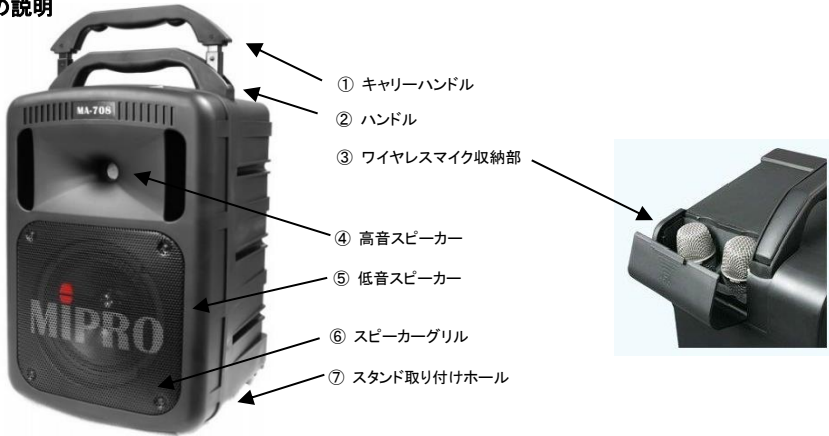
配線図

### 注意事項

感電の恐れがあります！屋外で AC100V を使用の際は十分注意をしてください。本体背面に、このシンボルマークが付いています。危険ですからパネルを開けないで下さい。



## 各部の説明



- ① キャリーハンドル
- ② ハンドル
- ③ ワイヤレスマイク収納部
- ④ 高音スピーカー
- ⑤ 低音スピーカー
- ⑥ スピーカーグリル
- ⑦ スタンド取り付けホール

- ① キャリーハンドル: ハンドル上部の赤色ボタンを押しながら、キャリーハンドルを引き出す。収納する場合は、ハンドル上部の赤色ボタンを収納する場合は、ハンドル上部の赤色ボタンを押しながらキャリーハンドルを押し下げ収納します。※注意・・・収納するときに指を挟まないように注意してください。
- ② ハンドル: 本体を手で持ち上げるときに使用してください。
- ③ ワイヤレスマイクケース: ハンドタイプが 2 本収納できます。
- ④ 高音スピーカー: 1.5 インチ ツィーター
- ⑤ 低音スピーカー: 10 インチ ウーハー
- ⑥ スピーカー保護用グリルネット
- ⑦ 床上スタンド取り付けホール: 35mmΦ

## + 背面

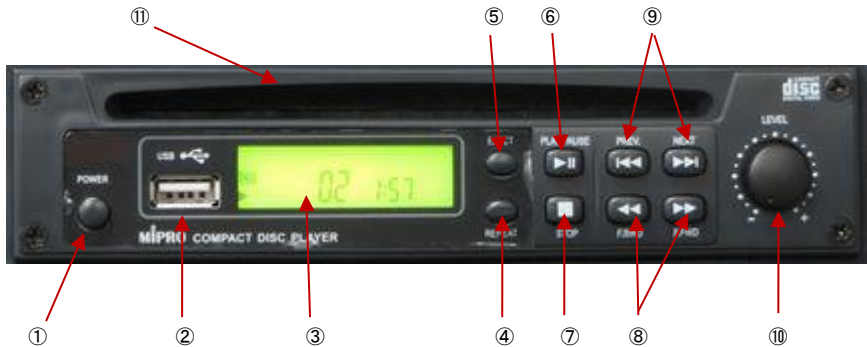


- トランスミッターストレージ
- インターリンクトランスミッター
- 1-4 ダイバーシティーレシーバーモジュール MRM-70B/MRM-72B
- ノイズ&感度
- スキャン&ACT ボタン
- Bluetooth ミュージックプレーヤー
- インジケータ付きマスターボリュームメモリー機能
- RCA ライン入力
- 内蔵充電式バッテリー
- スピーカースタンド取り付け部
- 引き込み式キャリーハンドル
- オプション CD プレーヤー CDM-2
- 4 レベルバッテリーインジケータ
- エココントロール
- エクステンションスピーカーソケット
- 音質調整
- バランス XLR マイク入力
- ボイス・プライオリティスイッチ
- AC 電源ソケット
- 外部 DC 電源ソケット
- RCA ライン出力
- キャスターホイール

## 各部の操作説明

### CD+MP3 プレーヤー

基本仕様および操作方法は、一般市販されている CD プレーヤーに準じております。慎重に操作して頂きますよう、お願いいたします。



- ① POWER: POWER(電源 SW)ボタンを押すと電源が入り②の表示窓に状態が表示されます。再び POWER ボタンを押すと電源が切れ、表示窓に何も表示されなくなります。
- ② USB ポート: USB フラッシュメモリーなどに取り込んだ MP3 ファイルを再生します。
- ③ ディスプレイ: 再生中のトラックナンバー、時間などを表示します。
- ④ REPEAT: 同一トラックまたは全トラックを繰り返し再生。
- ⑤ EJECT: イジェクトボタン。CD を取り出すときに押します。
- ⑥ PLAY/PAUSE: 再生・一時停止
- ⑦ STOP: 停止
- ⑧ F.FWD/F.BWD: 早送り・早戻し
- ⑨ NEXT/PREV.: 次のトラックを再生・前のトラックを再生
- ⑩ LEVEL: 再生音のボリュームコントロール
- ⑪ CD 挿入スロット: 本機は標準の12センチ盤のみしか使用できません。印刷されているラベル面を上にして静かに挿入してください。



A-B ボタン: 任意に決めた A 点と B 点の間をリピート再生。

RAN ボタン: ランダムに再生。

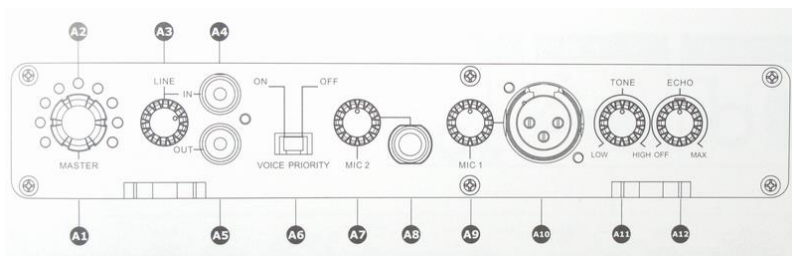
REP ボタン: 1トラックまたは全トラックをリピート再生。

PITCH LO/NOR/Hi: テンポコントロールボタン。LO(遅い)HI(速い)NOR(通常)

USB/CD .J: .J ボタンで USB と CD の切り替えをします。

FOLDER : USB/MP3 使用時、USB 内のフォルダーとトラックナンバーを表示。

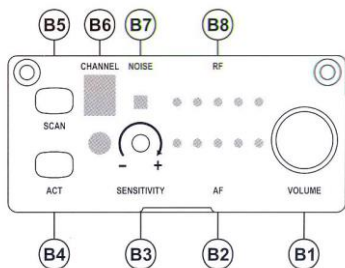
## A: コントロールパネル



- A1 デジタルマスター音量調整：メインのボリュームです。一度押すとミュート状態になります。
- A2 音量表示：LEDの点灯で現在の音量の大きさを示します。
- A3 ライン入力レベル調整：ライン入力信号のレベルを調整します。
- A4 ライン入力：アンバランス信号出力端子の外部機器を接続します。
- A5 ライン出力：アンバランス信号入力端子のついた外部機器を接続します。
- A6 ボイス・プライオリティスイッチ：マイクの音が入るとBGMが自動でミュートします。（スイッチ ON 時）
- A7 MIC2 音量調整：ワイヤードマイク(MIC2)の音量を調整します。
- A8 ワイヤードマイク 2 入力：アンバランス・マイクロフォンの 6.3mm プラグを接続します。
- A9 MIC1 音量調整：ワイヤードマイク(MIC1)の音量を調整します。
- A10 ワイヤードマイク 1 入力：バランス・マイクロフォンの XLR コネクタを接続します。
- A11 トーンコントロール：反時計方向に回すと低域を、時計方向に回すと高域を増幅します。  
12 時位置でフラットな周波数特性です。
- A12 エコーコントロール：エコー効果が必要な場合に調整します。

## 各部の操作説明

### B: ワイヤレマイク受信機(オプション)



- B1 受信機電源スイッチ兼音量コントロール
- B2 オーディオ信号・レベルメーター（5ポイント）
- B3 感度調整：送信機の電源を切ったときに、雑音がかかっているときに調整する。
- B4 ACT ボタン：送信周波数を受信周波数に合わせる場合に使用する。
- B5 SCAN ボタン：空きチャンネルを自動的に見つける。
- B6 CHANNEL：チャンネル番号表示
- B7 NOISE：混信状態の表示
- B8 RF：受信電波の強度表示（5ポイント）

## 使用チャンネル(周波数)の決定方法

### (A) オートスキヤン(自動式)

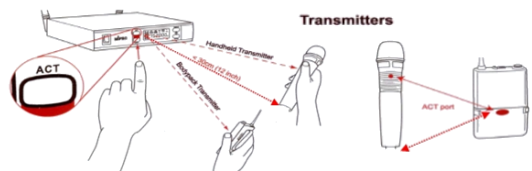
- ① 送信機の電源を OFF にします。
- ② 受信機電源スイッチ兼音量コントロールを時計廻りに動かし、電源を ON にして音量は最少の位置にします。
- ③ 受信機の SCAN ボタンを約 1 秒程度押し続けます。
- ④ CHANNEL 表示の LED が点滅したら、SCAN ボタンを離します(6 回点滅します)。
- ⑤ 点滅中に SCAN ボタンを押すと自動的に空きチャンネルを見つけ、チャンネル番号を表示します。
- ⑥ 送信機の電源を ON にして、送信機の ACT シグナル受信部を受信機パネルに 20cm 程度近づけ、受信機の ACT ボタンを押すと、自動的に送信周波数が設定されます。
- ⑦ 受信機の RF メーターが充分点灯していることを確認し、適度な音量に調整してご使用ください。

### (B) 手動 (混信等で他のチャンネルに変更したいときに使用)

- ① 送信機の電源を OFF にします。
- ② 受信機の SCAN ボタンを約 1 秒程度押し続けます。
- ③ CHANNEL 表示の LED が点滅したら、SCAN ボタンを離します(6 回点滅します)。
- ④ 点滅中に再び SCAN ボタンを押し続けると、チャンネル表示が 2 回ずつ点滅します。
- ⑤ SCAN ボタンを押し続けるとチャンネル番号が変わります。
- ⑥ 使用したいチャンネル番号を表示させ SCAN ボタンを離します。
- ⑦ 送信機の電源を ON にして、送信機の ACT シグナル受信部を、受信機パネル 20cm 程度近づけ、受信機の ACT ボタンを押すと、自動的に送信周波数が設定されます。
- ⑧ 受信機の RF メーターが充分点灯していることを確認して使用してください。

### ACT: 周波数自動設定操作

- (1) 送信機の ACT 信号受光部を、受信機のパネルに向けて 20cm 位近づけてください。
- (2) 受信機の ACT ボタン④を押します。



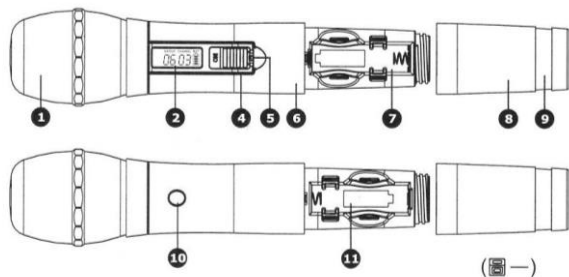
## Bluetooth ペアリング方法

お手持ちの Apple iPhone, iPod touch やその他の Bluetooth 対応機器を PA スピーカーで再生することができます。

- LED インジケータライトが青/赤に点滅するまで Bluetooth 電源ボタンを 3-5 秒間押し続けます。
- 本体 Bluetooth の電源が入っていることを確認し、電源が入っているワイヤレス Bluetooth 機器を 1m 以内に近づけてください。
- Bluetooth デバイスで受信機の ID を検索します。デバイス ID は「MIPRO MB-xx または MP-xx」であり、XX には 2 つの番号が入ります。デバイス ID をクリックします。
- PIN 番号の入力を求められた場合「0000」と入力します。これによりペアリングが始まります。
- ペアリングされ接続されると、ミュージックプレーヤーの LED インジケータライトが点滅し続けるか、点灯します。
- これで設定は完了し、お手持ちの機器で音楽を再生してください。
- その他の機器を接続したい場合は、一度 Bluetooth 電源を切り、再度電源を入れます。
- 上記の設定を繰り返し、新しい Bluetooth 機器を接続してください。

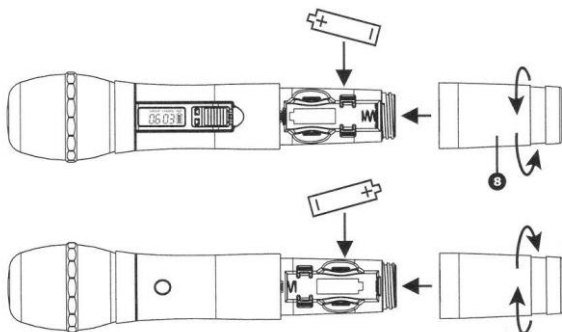
電源を切る場合は、LED インジケータライトが消えるまで 3-5 秒間 Bluetooth 電源ボタンを押し続けてください。

## ACT-32H ハンドタイプ



- ① グリル: ポップノイズ(吹かれ)を防ぐウインドスクリーンを内蔵し、転がり防止の角つきグリルを採用しています。
- ② LCD ディスプレイ: グループチャンネル、電池残量、エラーコードを表示します。
- ④ 電源スイッチ: スライドをさせて ON/OFF を行います。
- ⑤ ロックスイッチ: 電源 ON の後ロックスイッチをスライドさせることにより、誤って電源を切ることを防ぎます。
- ⑥ ハウジングケース
- ⑦⑪ 電池ケース: アルカリ単三型電池×2 本を使用します。
- ⑧ 電池ケースカバー
- ⑨ カラーリング : 複数のマイクを色分けにて識別できます。
- ⑩ ACT 赤外線受光部: 受信機の ACT 送信ポートに ACT 赤外線受光部⑩を近付けて周波数を設定します。  
ACT: 自動周波数設定方法は、受信機の説明書を参考にしてください。

### 電池の交換方法

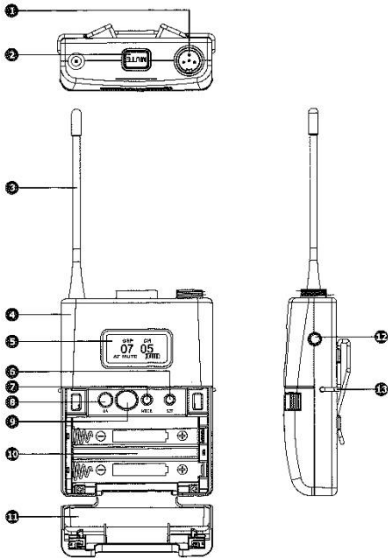


**注意: 電池を交換する場合は、必ず電源スイッチを OFF の状態にしてから行ってください。**

- ◎ 電池ケースカバー⑧を、矢印の方向(ねじを緩める方向)へ回転させて本体からはずし、電池を交換してください。
- ◎ 電池の極性(＋)を間違いなく、慎重に装填してください。
- ◎ 使用する電池は 1.5V アルカリ単三型電池を 2 本ご使用ください。

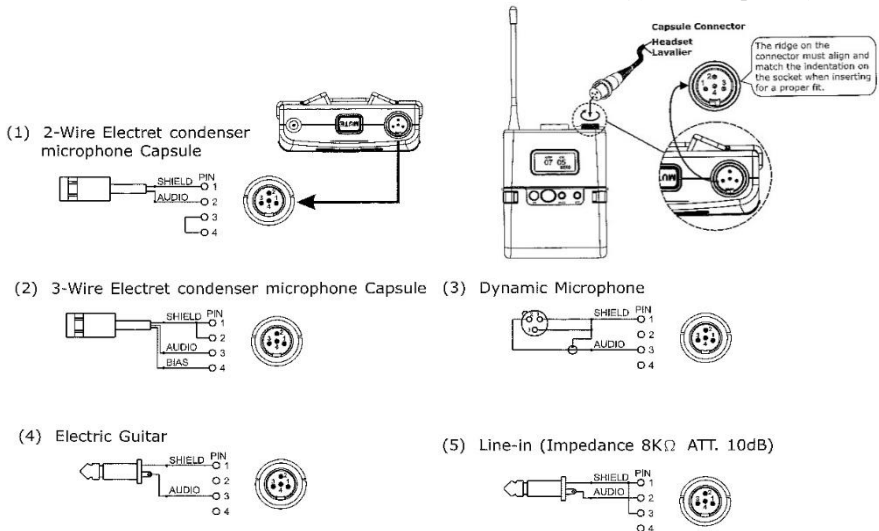


# ACT-32T ボディバックタイプ(ツーピースタイプ)

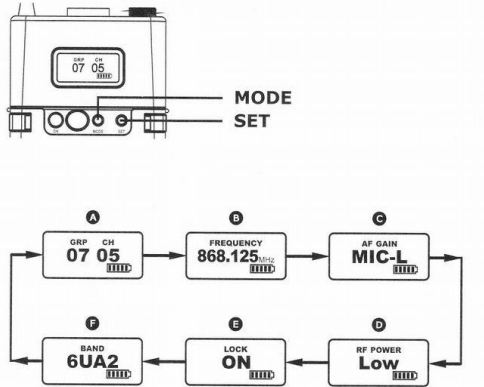


- ① **マイクコネクタ**: TA4F mini 4pin コネクタが接続できます。
- ② **MUTE ボタン**: ミュート、ミュート解除を設定します。
- ③ **送信アンテナ**
- ④ **送信機本体ケース**
- ⑤ **LCD ディスプレイ**
- ⑥ **SET ボタン**: オーディオゲインの調整、RF 出力を変更できます。  
RF 出力は Hi が 10mW、Lo が 1mW です。
- ⑦ **MODE ボタン**: LCD ディスプレイの表示モードを変更します。
- ⑧ **電源ボタン**: このボタンを 2 秒間押すことで電源の ON/OFF が出来ます。
- ⑨ **ACT ポート**: この部分を受信機に近づけて ACT シンク(周波数自動設定)を行います。
- ⑩ **バッテリーコンパートメント**: バッテリーを入れるスペースです。
- ⑪ **バッテリーカバー**
- ⑫ **外部ミュートコネクタ**: 外部ミュートスイッチケーブル(別売 MJ-70)を接続することで、任意のタイミングでミュートが可能になります
- ⑬ **ベルトクリップ**: 着脱可能、リバーシブルタイプのベルトクリップです。

※マイクコネクタへの接続は、下図のようにコネクタガイドに注意して差し込んでください。



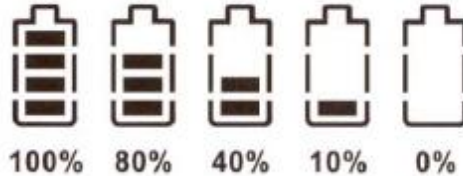
## 機能表示



ディスプレイは MODE スイッチを押すごとに、上図 A～F まで 6 つのメニューが表示され、SET ボタンでパラメータを設定します。

- A. グループとチャンネル番号（表示のみ）
- B. 周波数（表示のみ）
- C. 音声入力レベル LINE → MIC-L → MIC-M → MIC-H
- D. RF 出力 LOW(1mW) ⇔ High(10mW)
- E. 誤動作防止用ロック機能 ON ⇔ OFF
- F. 周波数バンド（表示のみ） 日本仕様は 8A

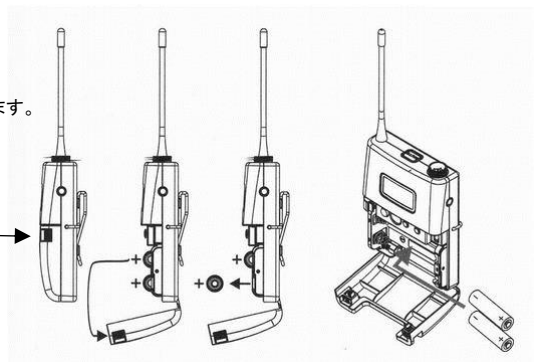
電池メーター 下記の表示が出来ます(10%に成りましたら、速やかに電池を交換してください)



## 電池のセット又は交換

電池収納部カバー⑩の矢印部分を指で押さえてラッチをはずしながら、カバーを開けます。1.5V 単三電池を二本、右図の要領でセット又は交換してください。

電池収納部カバー⑩



## MA-708 仕様書

スピーカー出力	120 W(RMS)/190 W(MAX)
歪み	1% 以下
周波数特性	50 Hz ~ 18 kHz ± 3 dB
スピーカー	1 インチ ツィーター×1 8 インチ ウーファー×1
ワイヤレス受信機	MRM-70B×1 (最大 4 波増設可能)
ワイヤレス送信機	オプション (ACT-32H/T の組み合わせ)
受信アンテナ	内蔵
CD プレーヤー	オプション (CDM 2 プレーヤー)
Bluetooth コネクション	あり
入 力	マイク入力 x 2(XLR、6.3mm 各 1) ライン入力 x 1(RCA)
出 力	ライン出力 x 1(RCA)
内蔵電源	12V /4.5Ahバッテリー x 2
AC 外部電源	AC 100V 50 ~ 60 Hz
内蔵バッテリー充電時間	約 8 時間 (フル充電)
内蔵電源連続待機時間	約 7 時間
外形寸法	336(W) x 545(H) x 325(D)mm
重 量	16.3Kg
色	黒

## 送信機仕様書

	ハンドタイプ	ボディパックタイプ
型 名	ACT-32H	ACT-32T
ケース	プラスチック	
発振方式	PLL	
周波数帯域	B 型 UHF 806~810 MHz	
周波数セットアップ	ACT(周波数自動セットアップ)	
送信出力	10mW	
アンテナ	1/4 λ ホイップ型 (内蔵)	1/4 λ ホイップ型
マイクカプセル	MU-80 (コンデンサー型)	MU-53L/MU-53HN (ピンマイク)
電池	1.5V 単三型乾電池 x 2	
寸 法	51φ x 234mm	63 x 82 x 22mm
重 量	251g	83g

## ワイヤレスマイク チャンネル表示と周波数対照表 周波数は MHz

チャンネル番号	0	1	2	3
周波数	806.125	806.375	807.125	807.750
チャンネル番号	4	5	6	7
周波数	809.000	809.500	806.625	806.875
チャンネル番号	8	9	A	B
周波数	807.375	808.250	808.625	809.250
チャンネル番号	C	d	E	F
周波数	808.000	809.125	809.375	809.750



**日本テックトラスト株式会社**

〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町 30-13  
グラスシティ元代々木1F

TEL: 03-6407-0492 FAX: 03-6369-4465

E-mail: [sales@tech-trust.co.jp](mailto:sales@tech-trust.co.jp)

URL: <http://www.tech-trust.co.jp>